

## 南予地域柑橘農業復興対策チーム第6回会議の内容

〔平成30年11月21日(水)10:30~  
南予地方局7階大会議室〕

### 1 短期的復旧対策について

#### (1) 今季収穫作業の対応

##### ○県

- モノレールの修復状況(10/17~11/21までの復旧状況)について説明
- ・宇和島地区は、県外業者の追加等により21.6%から59.3%まで大幅に復旧
- ・八幡浜地区は、16.3%から29.1%まで復旧
- ・東宇和地区は、9.7%から36.7%まで復旧

##### ○JAえひめ南

収穫の状況について、11月19日現在、極早生が2,997t(計画比97%、昨年比85%)。販売額は計画程度になる予定。

早生温州は、出荷の終盤で現在のところ3,327t(計画比74%)。

運搬アルバイトについては、現在、14農家から70人余りの求人があり引き続き、募集を行う。ただ、宿泊施設が満室に近いため、情報を得ながら確保していく。

##### ○県(農産園芸課)

昨日までに84か所、24,000枚のチラシを配布。一人でも多くの運搬アルバイトを確保できるよう、引き続き、活動していく。

##### ○JAひがしうわ

早生の出荷状況は計画比に対して現在のところ90%。前年並みとなる見込み。

摘果作業が遅れていることから小玉が多く、2Sのもう一つ下の階級がかなり多い。南柑20号は、前年の収穫が少なかったことから、前年比130%を超える見込み。

モノレールの修繕は、今年度収穫分には間に合う形で復旧は進んでいる。

アルバイトについては、農家から10人程度の雇用希望が出ているが、現時点では人材確保に至っていないため、11/15からJAのHP等で募集を行っている。

来年5月から始まる次期作の防除作業に向けてスプリンクラーの復旧について、地元役員に報告会を年内に行う予定。

#### (2) 販売支援の状況

##### ○県(産地戦略推進室)

豪雨災害の影響で、外観に難がある温州みかんについては、JAえひめ南と連携して「宇和島がんばるみかん」として特別販売に取り組んでいる。

正品については、「宇和島復興みかん」として販売に取り組んでいる。

##### ○JAえひめ南

「宇和島がんばるみかん」の販売により被災柑橘農家の所得確保につながっていることに感謝。11月からは各共選が仙台、東京、横浜、千葉で販売促進のイベントを予定している。

### 2 中長期対策について

#### (1) これまでの災害査定の状況について

##### ○宇和島市

農地について深浦、法花津、白浦、奥南の1次査定が完了。残りの喜佐方、吉田の一部、立間は

9次査定において対応し、年内に完了する予定。

県営幹線水路、灌漑施設、排水路については、年内完了予定で作業を進めている。

#### ○西予市

明浜地域のモノレールについて、公共災害事業と被災農業者向け経営体育成支援事業と市単独で区分けをし、全体で138か所を計画している。そのうち、公共災(25か所)の査定は終了。事前着手で修復しているところもある。

農地、農道を含めた全体の査定状況は約半分で、畑灌施設は、国と災害査定の条件、方針等の協議に時間を要したため、来週から査定を受ける。

#### ○県(農村整備課)

今後の復旧事業計画について、宇和島市が事業主体として実施。災害復旧事業については、30年から32年まで3か年の計画で工事を進めていく。

畑灌施設については、県が市から受託して工事を進める。地元から来年4月以降の防除に使用できるように修繕願いたいとの要望がある。途中の支線水路が被災して、園地内は被災を受けていない未被災についても、4月以降に市と連携して要望に応じていきたい。

被災した大河内の国営用水機場は国が10月末までに仮設ポンプを設置したことにより、立間六城地区でのスプリンクラーの稼働率がゼロから大幅に改善された。稼働率は今後の通水試験後に確定。

### (2)農地復旧モデル計画策定事業

#### ○県(農村整備課)

##### ・農地復旧モデル計画策定事業の進捗状況と時点修正について

ドローン測量したデータを基に、6地区全てで基図の作成まで完了しており、整備構想図ができた地区から順次、地元説明会を行うこととしている。

※6地区=玉津地区(深浦、法華津、白浦)、立間(小名、白井谷)、喜佐方(沖村、河内)

農地の権利関係や担い手等の調査にも着手しており、地元説明会にあわせて地権者や耕作者の意向調査を行っていく。

### 3 その他

#### ○JAひがしうわ

県内においてスプリンクラーの修理業者は知る範囲では松山に1社しかいない。モノレールと同じように復旧が遅れることを危惧している。

#### ○県(農村整備課)

八幡浜市で更新事業を実施しているが、水道業者が入札に参加している。今後、膨大な事業量になるが、3か年という期間内で計画的に工事を進めるうえで業者の確保に努めていきたい。

#### ○県(八幡浜支局農村整備第二課)

スプリンクラーの修繕は掘方が必要で人海戦術的なところが多いが、手掘りをする人がいないため、農家さんに出役で協力していただいたら、少しはスムーズに進むのではないかと。

#### ○JAひがしうわ

ドローン防除も登録農薬が少ないため、一貫した防除が行うことはできない。4月以降の防除にはスプリンクラーを使用したい意向もあり、できるだけ農家の負担をかけないように、早めに動かないと間に合わないかと心配している。